

第19回「淀川水系ダム事業費等監理委員会」議事録

■開催日時：令和6年7月29日（月）10:00～11:30

■開催場所：近畿地方整備局 大手前合同庁舎 1F 共用会議室
（大阪府大阪市中央区大手前3-1-41）

■委員：岸田 潔（京都大学大学院工学研究科 教授）
角 哲也（京都大学防災研究所水資源環境研究センター 特定教授）
野村 良一（立命館大学経済学部経済学科 教授）
◎深川 良一（立命館大学総合科学技術研究機構 招聘教授）
水草 浩一（国立研究開発法人土木研究所河道保全研究グループ 上席研究員）【欠席】
◎印は委員長（50音順・敬称略）

■オブザーバー：滋賀県・京都府・大阪府・大阪広域水道企業団・阪神水道企業団

■議事概要：

委員会は委員4名の出席により、事務局から大戸川ダム建設事業、丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備について、事業概要、事業進捗状況、コスト縮減項目等の説明を行い、各委員より意見及び助言を頂いた。

■大戸川ダム建設事業について

（委員の主な意見）

1. 事業概要（意見なし）
2. 事業の進捗状況（意見なし）
3. コスト縮減項目（意見なし）
4. 本事業への助言
 - ・放流設備の構成については、河床部の放流設備や通砂など流水型ダムとしての特徴に加え、維持管理性も考慮の上、最適配置となるよう検討を行うこと。
 - ・基礎処理については、地質情報を十分に精査し、流水型ダムとして必要な遮水性や安定性を考慮の上、工事工程に影響が生じない時期までに必要な検討を行うこと。
 - ・地質の不確定要素を可能な限り排除できるよう、必要な調査を実施すること。

■丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備について

（委員の主な意見）

1. 事業概要（意見なし）
2. 事業の進捗状況（意見なし）
3. コスト縮減項目（意見なし）
4. 本事業への助言（意見なし）

（以上）